



外国人との連絡手段を決めよう

それぞれの連絡手段の特徴を見て、自社に合う方法を選びましょう

電話番号 個人契約

日本に住む外国人は携帯番号を持っていない人が多いです。

電話番号なしのデータ SIM という種類の SIM カードの方が安いので、外でインターネットは使えても、直接繋がる番号がないという契約の人が多います。

法人携帯の貸与

どうしても携帯電話で連絡を取りたい場合は、法人携帯を貸与するという方法もあります。



LINE

LINE (ライン) は日本人が一番よく使う SNS アプリなので、日本に住む外国人も使っている人が多いです。グループを作ったり、通話をしたりできるので、企業の担当者が外国人への連絡用のグループを作ればスムーズです。ただし、日本人とあまり交流がない外国人は、LINE をほとんど使わずに開かない人もいますので、常に見るように伝えた方が良いでしょう。

『LINE WORKS』という法人用の LINE を使うと、プライベートと仕事を分けることもできます。



MESSENGER (メッセンジャー)

Facebook (フェイスブック) は世界中ほとんどの人が使っている (知っている) SNS アプリなので、使いやすいです。フェイスブックのメッセージ機能だけを取り出したアプリが Messenger (メッセンジャー) です。

グループを作ることができるし、共有したファイルは時間が経っても消えないので便利です。

ただし、プライベートで使っているフェイスブックを会社の人に見せるのを嫌がる人もいます。また、外国人の中には本名で登録していない人もいますので、連絡先を探すのに苦労します。企業担当者も、プライベートのアカウントを使うのは気が引けるかもしれません。

フェイスブックは携帯電話に直接登録するものではなく、確実に個人に紐づくものなので、連絡先を失わないというメリットがあります。



WHATSAPP (ワッツアップ)

WhatsApp (ワッツアップ) は日本では主流ではないですが、海外ではよく使われる SNS アプリです。携帯番号だけで簡単に登録ができ、通話もできます。日本のようにワッツアップをあまり使わない国もあります。





SKYPE(スカイプ)

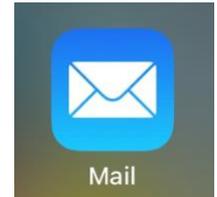
ビジネスで使われることが多い Skype（スカイプ）も、連絡手段として使えます。スカイプは電話会議で使われることが多いので、個人ではあまり使わず、アカウントを登録していない人も多いです。会社で使う場合は、登録をしてもらわなければなりません。



GMAIL などのメールアドレス

ほとんどの人がメールアドレスを持っていますが、開けない、使っていないという外国人も多いです。

給与明細の送付先として登録するなど、特別な場合を除き、普段の連絡手段としてはおすすめできません。



ZOOM

ZOOM（ズーム）はオンライン会議や面接などでよく使われるアプリです。外国人も使う人が多いです。ズームはアカウントを登録する必要がないので、遠隔でミーティングをしたい場合に便利です。

外国人と連絡を取る時のコツ

- ◇ 「やさしい日本語」で送る
- ◇ 用件が分かりやすいように送る
- ◇ 翻訳をしやすいように、文章として送る
- ◇ 方言やスラングを使わない